聖学院大学政治経済学部　実務経験のある教員による授業科目一覧

政治経済学科：22単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業形態	授業内容または授業概要
1	日本史概説Ａ	1	2	阿部　能久	学芸員	講義	古代から中世にかけての歴史的事実について知識を深め、その背景を考察することにより、歴史を見る目を養うことを目標とする。また、大学が所在する旧武蔵国（現在の埼玉県）の地域史に着目することにより、自分たちの身近な場所の歴史についても理解を深めていきたい。概説Ａでは、古代・中世の日本史を対象とする。テキストをもとに、この時代の政治や経済、文化の流れを把握することに努める。特に当該期の旧武蔵国を中心とする関東の状況について、この地の豪族たちの動向を中心にみていく。
2	民法Ａ(総則・物権)	1	2	木村　裕二	法律事務所	講義	民法の基本原理、権利の主体・客体・行為に関する原則と構造、条文の趣旨・要件・効果、重要な判例などを解説し、民法総則・物権編の基礎知識と制度の理解を得ることを目標とします。　個人は、他人との自由な約束によって、財産（モノとカネ）を交換します。約束は互いに守られるべきだから、契約に基づいて権利・義務が発生します。誰が契約相手に選ばれるかは、自由競争です。それが原則ですが、ハンディを負った人はどうなるのか。団体で活動したいとき、他人に任せたいときはどうするのか。本心でない約束をしたときはどうなるか（民法総則）。物に対してどんな権利が成立するか。どのようにして、目に見えない権利を安全・確実なものにするか（物権法）。そのような問題を取り扱います。民法の平成29年改正についてもフォローします。
3	民法Ｂ(債権)	1	2	木村　裕二	法律事務所	講義	民法の基本原理、財産取引に関する原則と構造、条文の趣旨・要件・効果、重要な判例などを解説し、民法債権編の基礎知識と制度の理解を得ることを目標とします。　契約を実現するため、互いのなすべきこと、つまり債務を履行します。どうすれば債務を履行したといえるのか、相手が履行しないときどうするか（債権総論）。債務が履行できないものだったときや、途中で履行できなくなったとき、契約はどうなるか（契約総論）。取引の種類に応じて、どのような内容の債権・債務が発生するか（契約各論）。契約は結んでいないが、自分との関わりで他人に損害や損失が生じたとき、どういう場合に、どんな範囲で責任を負うか（不法行為・不当利得）。そのような問題を取り扱います。また、民法の平成29年改正についてもフォローします。
4	中小企業論	1	4	酒井　俊行	政策金融機関他	講義	わが国における企業数の99.7%は中小企業です。このように企業の数だけ見ても、中小企業は身近な存在であるはずなのに、意外に”中小企業ＷＨＡＴ？”というのが実態だと思われます。　この授業を受ける第一の意義は、そうした”ＷＨＡＴ？”をなくすることです。中小企業の在り様を正確に理解し、そのわが国のおける地位・貢献度を理解してもらうことによって、少しでも”ＷＨＡＴ？”をなくすることが私の期待するところです。　第二に、わが国従業者の70.1%が中小事業所に勤めているということです。ということは、皆さんもそうした中小企業に勤めるチャンスが大きいということです。就活に際して業界研究は必須ですが、業界研究に止まらない中小企業研究も極めて大事になるわけです。　以上ここでは2つに限定してこの講義の意義を挙げましたが、やや大げさに言えば、この講義はわが国経済に関する一面の真実を明らかにするためにも重要ということが出来ます。　上述のように、わが国では企業数の99.7%が中小企業であり、そうした中小規模の事業所に勤める従業者は全体の70.1%にも及んでいます。これらの数字に見られるように、実態として、学生の皆さんは卒業後中小企業に勤務することが多くなり、また大企業に勤めたとしても色々な局面で中小企業と関係を持たざるをえないということです。したがって想像以上に皆さんにとって、中小企業は身近な存在であるわけです。ところがこのように身近な存在でありながら、中小企業についてどれくらい知っているでしょうか？　この授業は、『21世紀中小企業論』に従って進めます。いずれにしても、テキストに書かれていることだけではなく、基礎的なアイデア・背景なども説明するつもりです。一般にどのテキストもマスターするためには、基本的な知識が必要とされます。したがって基本知識が不足すれば、理解が表面的になってしまいます。そのことを意識したうえで、可能な限り分かり易い説明を心掛けるつもりでいます。そのことを予め記憶して下さい。
5	組織行動論	1	4	八木　規子	調査研究企業	講義	われわれが社会生活を営む上では、いずれかの組織に所属することなしに生きていくことはできない。組織は、個人だけでは達成できない目標を達成しうる仕組みとして、人類の発明した仕組みの中でも最も価値のあるもののひとつといえる。しかしながら、組織が所期の目標を達成するためには、所属する成員が協力しあうことが重要となる。組織成員の協力を引き出し、目的に向かって成員を動かすためには、さまざまなスキルが必要とされる。組織行動論を学ぶことの意義は、こうしたスキルを身につけるとともに、人間の認知、行動、感情を動かす原理原則を学ぶことで、自分自身と他者をより良く理解することにある。組織行動論の学びを通じて、自らが組織の良き一員となるだけでなく、後年、部下をもったときには、良き上司として、部下を導き、育成する力を磨くことを目標とする。　組織行動論は、組織という文脈のなかで、人間が行動する際に見せるさまざまな法則性について学ぶ。個人が、個人として、また、小集団・組織の成員として行動し、認知し、また感情を抱く際にみせるさまざまな法則性に関する理論やフレームワークの習得に基礎を置き、それらの法則性の活用を、実際の組織（大学内のクラブ、企業、非営利団体、等）が直面する諸問題の解決に、どのように適用できるか、ケース・スタディ、ロール・プレイ、グループ・プロジェクト等の学習手法を通じて、身に着ける。
6	公務員特講(自治体研究Ａ)	2	2	猪狩　廣美	銀行、地方公務員	講義	日本の地方自治はどのように成長してきたのか、そしてその自治体が社会の中でどのような役割を担い、どのような事業を展開しているのか等について理解を深めるとともに、その業務を担う地方公務員の取り組みを学ぶことを通して、自らの進路を考える一助としたい。地方自治の成り立ちを踏まえ、更に最近の地方自治体を取り巻く状況を前提として（１）地方自治体の役割と業務（２）公務員の仕事の特性（３）進路としての公務員　等について実例を題材として学び、理解を深める。

聖学院大学政治経済学部　実務経験のある教員による授業科目一覧

政治経済学科：22単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業形態	授業内容または授業概要
7	公務員特講(自治体研究Ｂ)	2	2	猪狩　廣美	銀行、地方公務員	講義	地方自治を自らに最も近い政治と捉え、自ら考える力を養うことを通して、自身の進路を考える一助としたい。地方自治体が直面する課題を取り上げ、自らの問題として考え、対応を模索していくことを通して、自治とは何か、いかにあるべきかを考える力を涵養する。
8	図書館情報技術論	2	2	塩﨑　亮	国立国会図書館	講義	図書館の業務・サービスを支える情報技術の概要と課題について、具体例にもとづき理解する。あわせて、コンピュータやネットワーク、ウェブ、情報検索システム、電子資料等に関する基礎知識をえる。文部科学省令で定められた科目内容に即し、コンピュータ等の基礎、ウェブ、情報検索システム、電子資料等について取り上げ、図書館業務に必要な基礎的な情報技術の全体像を把握できる内容とする。
9	情報サービス論	2	2	塩﨑　亮	国立国会図書館	講義	図書館で行われている各種情報サービスの概要について、他の関連サービスとの比較を介して理解する。また、演習科目の導入として、情報サービスを行う上で必要となるデータベースや参考図書類、調べ方と調べたことの整理方法等に関する基礎知識をえる。文部科学省令で定められた科目内容に即し、レファレンスサービス、情報検索サービス、参考図書・データベース等の情報源、発信型情報サービス等について取り上げ、図書館における情報サービスの全体像を把握できる内容とする。